



気違い(プリゴジン)に刃物(核兵器)

プリゴジンのワグネル部隊がモスクワ 200 キロの地点まで侵攻した時点で、プーチンは(プリゴジンとグルでないことを証明する為)モスクワへの進軍は反逆罪として厳罰に処すと述べた。

その合図を受けたプリゴジンは即座にワグネル軍を撤退させ、祖国の為によく戦ったとワグネル兵士たち(牢獄から連れてきた犯罪人集団)を讃え、一方プーチンはプリゴジンとワグネルの(見せかけの)反逆行為を許し、一転ワグネル兵士たちを英雄扱いにした。

プリゴジンはプーチンと共に信頼しているベラルーシの同じくグルのルカシェンコ大統領に身を寄せ、次なる愛国的大芝居の準備をしている。

プリゴジンとワグネル部隊がベラルーシに移動する時は 5 月初旬からわかっていたので、それまでにロシアの核施設と核兵器をベラルーシに移転し終えている。

ウクライナの隣接地ベラルーシにロシアの核施設と核兵器が移転されただけでウクライナと NATO にとって脅威である。

表面上は隠しているが、事実上プリゴジンのワグネル部隊が核を手にする事が決まっていたのである。

正に「気違いに刃物」である。

これでウクライナにとっても NATO にとってもベラルーシの核の脅威は何十倍、いや何百倍になる。

プリゴジンは、「俺は、ショイグ国防相のような売国奴がロシア軍のトップで胡坐をかいているから、仕方がなく核弾頭付きミサイル発射のボタンに手を掛けざるを得なくなったのだ。何が起きてもショイグ、お前の責任だ」。(内外からショイグ国防相辞任圧力がかかる)

「ウクライナを支援するいかなる国も、俺は許さない。もうじき核弾頭付きミサイルの雨が降るだろう」とプリゴジンはうそぶく。

今までにプリゴジンの罵詈雑言(ばりざんぼう)は、「ほんとうに何をするかわからない男」という印象を世界に植え付ける為の予備行為であった。

プリゴジンが核弾頭付きミサイル発射ボタンに手を置いた時、ウクライナ戦争の勝負が決まる。

これこそまさに「俺が世界を動かした」とプリゴジンの夢が叶う瞬間であり、プーチンとルカシェンコが「プリゴジンを上手く利用出来て良かったな」と胸をなでおろす時である。

そしてまた来年のロシア大統領選までに、またもや世界を震撼とさせる三人(プーチン、プリゴジン、ルカシェンコ)の次なる策略、いや謀略については、「時事直言」のような不特定多数の皆様にお話すると私の身が危険になる可能性が高いので「インターネット目からウロコの増田塾」の皆様だけにお話する。

本日より発送開始！増田俊男の小冊子 Vol.134

『日本はこれから良くなる運命』～ニッケイ平均は史上最高値 38,900 円になる！～
現在増田俊男の小冊子 Vol. 134 は大好評発売中です。内容は、*敗戦以来アメリカのピンに詰め込まれ蓋をされて来た日本 *中国は何故対日軍事威嚇を続けるのか *中国の為の米中冷戦 *キッシンジャーが決めた米中基本関係 *東京がニューヨークに次ぐ国際金融市場になる *おわりに 日本はこれから本当に良くなるなどです。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。